

「第五次子どもプラン武蔵野 中間のまとめ」からの修正箇所

資料 4  
令和 2 年 2 月 10 日  
第 4 回子どもプラン推進地域協議会

No	章	基本施策	施策	事業番号	事業名	修正内容（下線部は追記内容）	備考	所管課
1	第 1 章					P.4の下部に、関連する資料をホームページに掲載する旨の記載を追加した。	プラン公表時に、パブリックコメント等への対応方針についてもホームページ上で公開予定。	子ども政策課
2	第 2 章					P.7の「2 計画の基本的な考え方（第六期長期計画の施策の大綱より）」の記載について、「基本施策 1 ～ 5」ではなく、単に「1 ～ 5」とした。代わって、ページ下部に「本プランでは、上記の基本的な考え方を施策の体系における 5 つの基本施策として位置付けます。」という文を追記し、施策の体系との関係性を示した。	長期計画では、P.7の 1 ～ 5 を「基本施策」とはしておらず、長期計画の表記に合わせるため。	子ども政策課
3	第 3 章					P.20～21の「将来人口推計」を（1）今後30年間の人口推計（2）計画期間における各年齢別人口推計結果（0～11歳）の 2 つに分け、（2）に令和 2 ～ 6 年度の各年の子どもの人口推計を追記した。	ニーズ量の見込みを算出する際に使用した数値であるため。	子ども政策課
4	第 4 章	基本施策 1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	1-1 子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備			P.24の施策の方向性の 1 段落目を以下のように修正した。 「全ての子どもの個性が尊重され、健やかな成長・発達ができるよう、 <u>子どもの権利を守り、子どもと子育て家庭を切れ目なく支援するための施策を推進します。</u> これまでの産前・産後支援の取組みに加えて、妊娠期からの切れ目ない支援・相談体制として、保健・医療・福祉・教育等の関係機関の連携により、子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制を整備します。」		子ども政策課
5	第 4 章	基本施策 1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	1-1 子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備			P.24の施策の方向性の下に、新しい支援体制のイメージ図を追加した。		子ども政策課
6	第 4 章	基本施策 1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	1-1 子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備	1	子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備	P.24の事業番号 1「子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備」の本文中、最後の部分を以下のように修正した。 「・・・3 センターが中心となり、全ての子どもと子育て家庭に対して、関係機関の連携による切れ目のない支援を行います <u>が地域で孤立することなく適切な支援を切れ目なく受けられるよう、関係機関が連携して包括的な支援を行います。</u> 」	パブリックコメントNo.6 の、「社会から排除されたり取り残されたりしないように」という趣旨の表現を加えてほしい、という要望を受けての修正。	子ども政策課
7	第 4 章	基本施策 1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	1-1 子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備	2	児童発達支援センターによる子どもの発達支援の強化	P.25の事業番号 2「児童発達支援センターによる子どもの発達支援の強化」の本文中、最後の文を以下のように修正した。 「・・・同センターと教育支援センターの <u>母子保健部門、教育部門との</u> 連携を強化し、発達に心配のある子どもについて、切れ目のない支援を行います。」	パブリックコメントNo.8 の、児童発達支援センターが連携するのは教育支援センターだけではない、という指摘を受けての修正。	障害者福祉課
8	第 4 章	基本施策 1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	1-1 子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備	3	子どもの権利条例（仮称）の検討	P.25に事業番号 3 として「子どもの権利条例（仮称）の検討」を追加した。 「子どもの権利条約に定められた子どもの権利の理念に基づき、子どもの尊厳と権利が尊重されるよう、行政や家庭、学校など地域における各々の役割を明確化する、子どもの権利条例（仮称）の制定について、検討を行います。」		子ども政策課
9	第 4 章	基本施策 1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	1-1 子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備	8	発達に心配のある子どもと保護者を支える取組み	P.26の事業番号 8「発達に心配のある子どもと保護者を支える取組み」の本文を以下のように修正した。 「発達に心配のある子どもと保護者に対する情報提供や子育て支援事業のあり方について、 <u>当事者の意見を聞きながら検討を行い、必要な取組みを実施します。</u> 」	パブリックコメントNo.10の、当事者の声を聞かずに物事を決定しないでほしい、という意見を受けての修正。	子ども政策課

No	章	基本施策	施策	事業番号	事業名	修正内容（下線部は追記内容）	備考	所管課
10	第4章	基本施策1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	1-2 それぞれの環境に応じたきめ細かな子ども・子育て家庭への支援			令和元年度の子どもの貧困対策関連の、法改正、大綱の改正を受け、P.27の現状と課題の記載を全体的に修正した。		子ども政策課
11	第4章	基本施策1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	1-3 児童虐待の未然防止と対応力の強化			P32の図に「児童福祉施設」を追加した。	パブリックコメントNo.16の、関係機関に児童福祉施設も加えてほしいという意見を受けての修正。	子ども政策課
12	第4章	基本施策1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	1-4 妊娠期からの母子保健（ゆりかごむさしの）事業の推進	42	育児学級（離乳食教室・健診後フォロークラス）	P.37に事業番号42として「育児学級（離乳食教室・健診後フォロークラス）」を追加した。 「乳幼児期の育児についての基本的な知識の習得、育児経験や地域での交流の少ない母親に対し、育児に対する不安をグループの力を通じて解決するなど、子育て支援を行います。」		健康課
13	第4章	基本施策2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援	2-1 多様な主体による子育て支援の充実と連携の強化	59 60	親支援事業の充実  母と子の教室等の開催 親と子の広場等の開催	P.42事業番号59「親支援事業の充実」の本文を以下のように修正した。 「主に乳幼児を子育て中の保護者に対して実施する親自身の学びや成長支援及び、親同士の交流につながる、父親の育児参加を促進する啓発事業等」について、既存の講座・講演会の再編を検討します。」  P.42事業番号60の事業名を「親と子の広場等の開催」に変更したうえで、本文を以下のように記載した。 「主に、1歳6か月から2歳6か月の子どもとその保護者を対象に、親子でリズム遊び・ごっこあそびや手あそびをする中で、親子で遊ぶ楽しさを味わい、親同士、子ども同士または親子同士のふれあいの場となる事業を行います。」	パブリックコメントNo.23の、母と子の教室はあるが、父と子の教室はないのか、という意見を受けての修正。	子ども政策課
14	第4章	基本施策2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援	2-3 地域子ども館事業の充実			P.46の現状と課題3段落目の、あそべえについての記載を以下のように修正した。 「・・・異年齢・異学年交流で活動していますが、高学年の利用が低調であるため、高学年向けボードゲームの設置が必要です。高学年も来所しやすい環境づくりが必要です。また、・・・」  P.46の施策の方向性2段落目の、あそべえについての記載を以下のように修正した。 「地域子ども館あそべえについては、高学年が来所しやすい環境づくりを検討するとともに、夏季休業期間に高学年の来所が増加することから、 <u>の高学年用開放教室の確保を検討します。</u> 」	文教委員会で「低調」という表現に違和感があるとの指摘があった。	児童青少年課
15	第4章	基本施策4 子どもの「生きる力」を育む	4-3 子どもの体験・学習機会の充実	138	環境啓発施設における子どもへの環境啓発の推進	P.68～69にかけての、「エコプラザ」という名称の記載を削除した。	「エコプラザ」は仮称であり、今後正式名称が決まるため。	環境政策課
16	第4章	基本施策4 子どもの「生きる力」を育む	4-3 子どもの体験・学習機会の充実	142	オリンピック・パラリンピックのレガシーとしてのスポーツ事業の推進	P.69事業番号142「オリンピック・パラリンピックのレガシーとしてのスポーツ事業の推進」の本文を以下のように修正した。 「子どもたちのスポーツへの興味・関心を高めるため、「Sports for All」事業としてオリンピック・パラリンピック競技の体験やトップアスリートとの交流の場を提供します。また、子どもたちに <u>の体力向上と多様性を認め合う市民性を育む</u> ため、学校の授業支援の仕組みとして、 <u>ラグビーやバレーボールの出張事業や、共生社会・障害者理解をテーマにしたパラリンピック競技の体験機会を提供します。</u> 」	所管課で記載を修正した。	企画調整課

No	章	基本施策	施策	事業番号	事業名	修正内容（下線部は追記内容）	備考	所管課
17	第4章	基本施策4 子どもの「生きる力」を育む	4-3 子どもの体験・学習機会の充実	143	学校教育との連携及び青少年への生涯学習機会の提供	P.69事業番号143「 <u>学校教育との連携及び青少年への生涯学習機会の提供</u> 」の本文を以下のよう に修正した。 「現代の子どもたちに『生きる力』を育むために、学校休業日の土曜日に体験活動を中心とするプロ グラムを展開します。学校では普段取り扱わない体験活動プログラム等を中心とした土曜学校を開 催します。また、土曜学校サイエンスクラブで学んだ子どもたちが、他の子どもたちに学んだことを伝え る『むさしのサイエンスフェスタ』のような機会を充実させていきます。」	パブリックコメントNo.55の、「土曜学校」「サイエンスフェスタ」についても記載すべきでは、との意見を受けての修 正。	生涯学習ス ポーツ課
18	第4章	基本施策4 子どもの「生きる力」を育む	4-3 子どもの体験・学習機会の充実	147	子どもの読書活動推進事業の充実	P.70事業番号147「子どもの読書活動推進事業の充実」の事業内容の2行目として以下の文章 を追加した。 「また、子どもの読書活動推進計画を令和2年度に改定します。」	所管課で記載を追加した。	図書館
19	第4章	基本施策4 子どもの「生きる力」を育む	4-3 子どもの体験・学習機会の充実	153	夏休みごみ探検隊	P.70事業番号153の「夏休みごみ探検隊」の後段の文章を以下のように修正した。（「里山」の削 除） 「・・・あわせて最終処分場のある里山地域の生き物観察を行うことによる啓発を行います。」	市民意見交換会意見（11月24日 No.12）の、里山 地域という用語が適切なのか、という指摘を受けての修 正。	ごみ総合対策 課
20	第4章	基本施策4～基本施策5	4-4以降すべて			P.71～88の学校教育計画から引用している部分については、同計画の最終的な内容にあわせて 修正した。		教育部
21	参考資 料					巻末の参考資料に以下のものを追加した。 ・武蔵野市子ども施策推進本部設置要綱／委員名簿 ・武蔵野市子どもプラン推進地域協議会条例／傍聴要領／委員名簿 ・第五次子どもプラン武蔵野策定のあゆみ ・第五次子どもプラン武蔵野施策体系図		子ども政策課

- ・その他、字句や数値・体裁の微修正、用語説明・画像の追加等、事務局の責任で行った。
- ・3月の公表時には、概要版（B6判小冊子）も合わせて作成、公表する。

（※事業番号・ページ番号については、中間のまとめ時点のものではなく、修正後の「第五次子どもプラン武蔵野」の番号で記載しています。）